

地域おこし協力隊が着任  
山ぶどうを通して地域を盛り上げたい

インタビュー

地域おこし協力隊の委嘱状交付式は5月1日、くずまゝるで行われ、山ぶどう栽培サポーターとして、川口実由樹さんが委嘱されました。任期は令和7年5月1日から最長3年間。山ぶどうの栽培のほか山ぶどうの振興を図るための活動を行います。



川口 実由樹 さん  
(千葉県出身・24歳)

Q 応募するきっかけは？

幼少期から田舎暮らしに憧れがあり、いつかは暮らしてみたいと思っていました。東京都有楽町にあるふるさと回帰支援センターで葛巻町の地域おこし協力隊の募集や移住体験ツアーを知り、興味を持ちました。

Q 葛巻町で楽しみになっていることは？

ワインの原料になる山ぶどうの栽培から製品になるまでの全ての過程を実際に見ることが多いです。

Q 葛巻町の印象は？

昨年の秋に参加した移住体験ツアーの際に見た、薪が積んである風景が印象に残っています。薪ストーブの生活にも憧れを持ちました。

Q 今後の抱負は？

山ぶどうの生産量が減少しているのを伺いました。少しでも食い止められるように、山ぶどうを通して地域を盛り上げていきたいです。

移住体験ツアーの様子はこちらから



地域おこし協力隊  
活動レポート



くずまき山村留学生寄宿舎  
ハウスマスター  
中尾 なつみ 隊員

葛巻の四季を見つける

こんにちは。本稿執筆時は4月下旬ですが、葛巻町の桜がやっと満開になりました。スイセンやレンギョウ、チューリップも咲いています。朝晩は冷えますが日中は暖かさを感じられる気温になってきました。

関西地方は4月上旬、ちょうど入学式の頃には桜が散り始めるので、改めて地域での気候差に、はっとさせられます。長く厳しい寒さの冬に耐え、東北地方の方は特に春を心待ちにしているのではないのでしょうか。春は生き物や植物が目覚まして動き出すような匂いがするところが好きです。

葛巻町で桜が咲いていそうな場所はないかな〜と散歩していると、いきいき広場というス

ポットを見つけました。また、秋葉神社の桜も見事な咲きっぷりでした。どちらも少し奥まった場所にあり、私だけが見つけたような、そんな特別な気持ちになりました。

これからこの町で過ごす中で、葛巻の夏も秋も冬も見つけていけることをうれしく思います。



中尾隊員が見つけた花見スポット（いきいき広場）